

2年 地学基礎	単位数	2 単位	実施予定授業数	70時間
---------	-----	------	---------	------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽系の中の、ひとつの天体として地球をとらえ、その構成している物質や活動をグローバルな視点でとらえる。 ・ 地球の歴史を生物界の変遷と関連付けながら理解を深めるとともに、過去を推定する手がかりや手法について理解を深める。 ・ 地球大気や海洋の現象とそれを引き起こす事象について、人間の生活に及ぼす影響と関連付けて考える。 ・ 広大な宇宙の広がりとはさまざまな天体の性質とその探究方法について、理解を深める。 ・ 実験や観察等を通して、科学的な探究の方法を学び、問題解決能力を培う。
使用教科書 ・ 副教材 等	教科書「地学基礎 改訂版」啓林館 資料集「スクエア最新図説地学」第一学習社 問題集「リードLight ノート」数研出版、「ベストフィット」実教出版、 「サンダイヤル Navi&トレーニング地学基礎」啓林館

2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲	時数
第1学期	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 第2章 活動する地球	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球の概観について学ぶ。さらに、地球の詳しい形やその内部構造を学ぶ。 ・ 地震や火山のような、活動する地球の特徴を理解し、地球上に分布するプレートと関連付けて学習する。 ・ 地球の表層をつくる岩石について、火成岩を中心に標本を用いながら、成因や構成する鉱物の特徴などを学習する。 	各考查間の学習範囲を指示する。	20
	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方	6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。 		
	<p>[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート</p> <p>[第1学期の評価方法] 考查の結果・出席状況・提出物の状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。</p>				
第2学期	第3部 移り変わる地球 第2章 地球と生命の進化	8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。 ・ 大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 	各考查間の学習範囲を指示する。	30
	第4部 大気・海洋 第1章 大気・海洋の構造	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。 		
	第2章 太陽放射と大気・海水の運動	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。 		
	第3章 日本で見られる季節の気象	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について学ぶ。 ・ 太陽系の天体の運動や惑星の特徴、恒星のひとつである太陽について、写真やビデオ等を通して学習する。 ・ 銀河系とまわりの銀河について学び、宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。 		
	第5部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽 第2章 恒星としての太陽の進化 第3章 銀河系と宇宙				

[課題・提出物等] 1学期と同様とする。					
[第2学期の評価方法] 1学期と同様とする。					
第3学期	第6部 自然との共生	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。 ・履修範囲の復習を行う。 	各考査間の学習範囲を指示する。	20
	まとめ	2			
		3			
[課題・提出物等] 授業の中で指示する。					
[第3学期の評価方法] 1・2学期と同様とする。					
[年間の学習状況の評価方法] 各学期の評定を総括し、年間の5段階評定とする。					
確かな学力を身につけるためのアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項の定着を徹底すること。 ・常に「なぜ？」を頭において勉強に取り組むことにより「考える力」をつけよう。 ・疑問点はあやふやなままにせず、質問したり、何度も教科書を読もう。 ・模試や演習問題等の解き直しを欠かさずに行おう。復習は必ず行おう。 			
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、授業時間を最大限に活用しよう。 ・地学は、地震、火山、気象、宇宙など人々の関心の深い自然現象を学習する科目なので、日々のニュースや天気予報から多くの情報を得よう。 			